

大温室内の新規導入植物の開花記録

堀川大輔・磯部 実・高井敦雄・山本昌生

はじめに

平成 30 (2018) 年 3 月に大温室がリニューアルオープンをする際に、長崎県亜熱帯植物園や沖縄から新しく導入した植物について、当園の大温室として新しく開花したものについて記載した。

ピンクイペー (桃色イペー)

Tabebuia impetiginosa

平成 29 (2017) 年 10 月に長崎県亜熱帯植物園より導入した株で、現地では屋外で栽培されていたものである。同年、11 月上旬に開花した。



さらに、翌年 7 月上旬、及び 12 月上旬に開花した。

写真 1. ピンクイペー (H29 年 11 月 3 日)

オオバナソシンカ

(ホンコンオーキッドツリー)

Bauhinia × *blakeana*

平成 29 (2017) 年 10 月に長崎県亜熱帯植物園より導入した株で、同園では屋外で栽培されていた。平成 30 (2018) 年の 1 月下旬に開花が始まり、3 月頃まで開花が継続して見られた。同年



12 月からも開花し、多数の花芽が見られた。

写真 2. オオバナソシンカ (H30 年 12 月 13 日)

ゴールデンチェーンツリー

Lophanthera lactescens

平成 29 (2017) 年に沖縄より導入した株で、地植えと鉢植えの 2 株の内、鉢植えの株が翌年 11 月中旬に開花した。9 月頃から花芽 (花序) の発生が確認され、花序長が約 30cm の長さになったところで付け根から順に開花していった。国内の植物園での開花事例は沖縄の熱帯ドリームセンターのみで、当園で 2 例目となる。鉢植えの株には同年 12 月上旬に 2 つ目の花芽が確認された。また、栄養成長が続き、しばらく開花しないと思われた地植え株にも 2 つ花芽が見られた。サガリバナ同様、累積温度や灌水の調節により、一斉に開花させることが可能かもしれないので要検証である。



写真 3. ゴールデンチェーンツリー (H30 年 11 月 11 日)



写真 4. ゴールデンチェーンツリー花拡大 (H30 年 12 月 13 日)

トックリキワタ

Ceiba speciosa (*Chorisia speciosa*)

平成 29 (2017) 年 10 月に長崎県亜熱帯植物園より導入した株で、同園では屋外で栽培されていた。平成 30 (2018) 年 10 月上旬に花芽が 6～7 つ形成されているのが確認できた。その後、11 月にかけて次々と開花した。



写真5. トックリキワタ (H30年10月31日)

カエンボク (黄花)

Spathodea campanulata

平成 29 (2017) 年に沖縄より導入した株であり、世界三大花木コーナーに植栽している。12 月上旬頃に 3～4 つの花芽が形成されているのが確認できた。同月中旬に黄色い花が開花し始めた。



写真6. カエンボク (黄花) (H30年12月20日)